

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

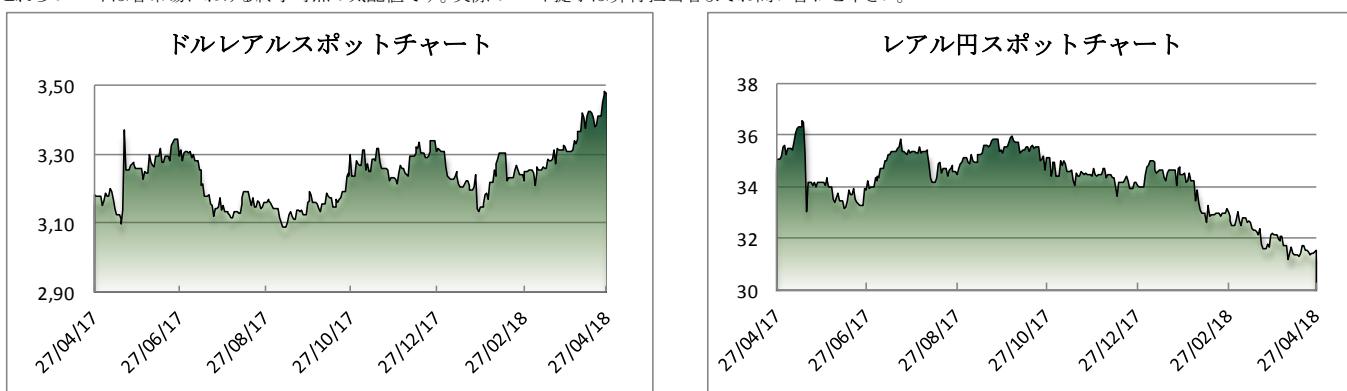
先週末のドルレアルスポット相場は、米長期金利が2日連続で低下したことや、ブラジル国内が実質的に連休前であったことからレアルも買戻しが優勢となり、3.45台後半で取引を終えた。米国では1-3月(第1四半期)の実質国内生産(GDP)速報値が公表され、前期比2.3%増と市場予想を上回った(昨年第4四半期の2.9%増からは減速)。個人消費が減速(1.1%増で、2013年以来の低い伸びに留まる)した一方、在庫投資と純輸出が増加に転じたことが寄与。ドルはGDP公表後グローバルに買いが強まったものの、その後は売りに転じた。ブラジルでは週末29日、Temer大統領が今月7日から予定されていた南アジアへの訪問を延期にすると報じられた(シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナム)。エレトロプラス民営化など、議会運営に影響が出ることを回避した模様。なお、同大統領のアジア訪問が延期されるのは今回で2回目となる。

ブラジル中銀が今朝公表した週次サーベイ(FOCUS)では、年末のインフレ率(IPCA)が前週同様3.49%を記録した一方、2019年末については4.03%と、前週の4.00%から僅かながらに上昇修正された。レアル相場については、足許で急速に進行したレアル売りを背景に、年末が3.33から3.35へ、レアル安方向に修正されている。2019年末については3.40で変わらず。レアル相場は先週節目の3.50台を一時突破したが、マーケット参加者の見方に今のところ大きな変化は出でていない。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月26日	4月27日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値	
レアル	対ドル	BRL	3,4756	3,4574	-0,52%	3,96%	3,1210	3,5153
	対円	JPY	31,45	31,54	0,29%	-0,40%	35,13	31,12
	対ユーロ	BRL	4,2063	4,1941	-0,29%	1,66%	3,8531	4,2803
円	対ドル	JPY	109,30	109,05	-0,23%	3,52%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	132,30	132,29	-0,01%	1,26%	128,95	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	86.383	86.445	0,07%	3,15%	88.318	76.403	
CDS Brazil 5yrs	bps	171,40	169,48	-1,12%	0,58%	188,62	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	9,84	9,78	-0,61%	3,00%	10,07	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	6,25	6,22	-0,48%	-0,40%	6,94	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3588	2,3581	-0,03%	2,44%	2,3656	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	201,22	201,39	0,08%	2,98%	203,92	187,35	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



〈オプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。